



## 市議会の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応について

市議会では会議の開催に当たり、密閉、密集、密接の3つの密を避けるため、審査日程を短縮したほか、開催場所の変更や定期的な換気、出席者へのマスクの着用や推奨等を行っています。

傍聴については、3月定例会の一部の会

議でご遠慮いただきました。ご協力ありがとうございました。また、このたびは緊急事態宣言が発出されたことに伴い、5月6日(水)まで市議会の傍聴をご遠慮いただいております。ご理解とご協力をお願いいたします。

今後も、状況によっては同様の対応を行う場合がありますので、その際は改めてホームページ等でお知らせいたします。



快晴のもと色づく春 (小平グリーンロード)

令和2年3月定例会は、2月21日から3月26日まで35日間の会期で開催されました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議日程を当初の予定から一部変更の上、縮小して実施しました。

この定例会では、令和2年度の各会計予算など市長提出議案14件を可決しました。議員提出議案は、小平市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定など3件を可決しました。

また、2月25日には6つの会派から19件の代表質問があり、その後2月26日から3日間にわたり、27人の議員から61件の一般質問がありました。

## 3月定例会

# 令和2年度各会計予算を可決

## ～一般会計予算は690億8千6百万円に～

## 今後の市議会の日程(予定)

### 開会時刻

原則として午前9時

### 場 所

市役所7階

|                                |                            |                                  |
|--------------------------------|----------------------------|----------------------------------|
| 5月11日(月) 議会運営委員会(※1)           | 6月 4日(木) 6月定例会本会議(一般質問)    | 6月26日(金) 6月定例会本会議(最終日)           |
| 5月14日(木) 小平市第四次長期総合計画基本構想特別委員会 | 6月 5日(金) 6月定例会本会議(一般質問)    | 広聴広報特別委員会(※1)                    |
| 5月19日(火) 総務委員会                 | 6月 9日(火) 総務委員会             | 7月10日(金) 広聴広報特別委員会               |
| 5月20日(水) 生活文教委員会               | 6月10日(水) 生活文教委員会           | 7月20日(月) 小平市第四次長期総合計画基本構想特別委員会   |
| 5月21日(木) 厚生委員会                 | 6月11日(木) 厚生委員会             |                                  |
| 5月22日(金) 環境建設委員会               | 6月12日(金) 環境建設委員会           | (※1) 開会時刻については、議会事務局にお問い合わせください。 |
| 5月28日(木) 議会運営委員会(※1)           | 6月16日(火) 広聴広報特別委員会         | (※2) 6月定例会初日日程の受け付け期限です。         |
| 6月 2日(火) 6月定例会本会議(初日)          | 6月17日(水) 都市基盤整備調査特別委員会     | (※3) 6月定例会最終日日程の受け付け期限です。        |
| 6月 3日(水) 6月定例会本会議(一般質問)        | 6月18日(木) 公共施設マネジメント調査特別委員会 |                                  |
|                                | 6月23日(火) 議会運営委員会(※1)       |                                  |

日程、開会時刻等に変更や追加になる場合もありますので、議会事務局までお問い合わせください。

### 令和2年度予算総額

(単位:千円、%)

|         | 2年度<br>予算額 | 元年度<br>予算額 | 伸び率        |       |
|---------|------------|------------|------------|-------|
| 一般会計    | 69,086,000 | 66,346,000 | 4.1        |       |
| 特別会計    | 国民健康保険事業   | 16,996,000 | 16,866,000 | 0.8   |
|         | 後期高齢者医療    | 4,470,000  | 4,349,000  | 2.8   |
|         | 介護保険事業     | 14,165,000 | 13,545,000 | 4.6   |
| 下水道事業会計 | 収益的収入      | 4,351,161  | 4,349,509  | 0.0   |
|         | 収益的支出      | 3,945,534  | 3,974,112  | △0.7  |
|         | 資本的収入      | 1,097,441  | 1,199,692  | △8.5  |
|         | 資本的支出      | 1,797,308  | 2,116,847  | △15.1 |

### 令和2年度 一般会計予算。 各特別会計予算。 下水道事業会計予算

なっています。時代の変化に合わせ、小平市がより魅力的な町となるための予算としています。  
〔歳入〕法人市民税が9億1千2百万円の減となる一方、地方消費税交付金は7億6千万円の増を見込んでいます。また、普通交付税は1億1千万円の増を見込んでいます。  
〔歳出〕民間保育園の運営費の増等により扶助費が増加しているほか、花小金井南中学校地域開放型体育館新築工事等により、普通建設事業が増加しています。  
〔国民健康保険事業特別会計〕予算総額は69億9千6百万円で、前年度当初予算に比べ0.8%、1億3千万円の増となっています。  
〔介護保険事業特別会計〕予算総額は14億1千6百万円で、前年度当初予算に比べ4.6%、6億2千万円の増となっています。  
〔歳入〕保険料、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金、一般会計繰入金等を計上しました。  
〔歳出〕保険給付費は4.7%、約5億7千2百万円の増を見込んでいます。  
要支援要介護認定者数は、前年度に比べ2.8%増の9千2百51人を見込んでいます。  
〔下水道事業会計〕  
〔収益的収入及び支出〕収益的収入は43億5千16万1千円で、前年度に比べ65万2千円の増となっています。収益的支出は39億4千5百53万4千円で、前年度に比べ0.7%、2千8百57万8千円の減となっています。  
〔資本的収入及び支出〕資本的収入は10億9千7百44万1千円で、前年度に比べ8.5%、1億2千25万1千円の減となっています。資本的支出は17億9千7百30万8千円で、前年度に比べ15.1%、3億1千9百53万9千円の減となっています。

〔後期高齢者医療特別会計〕予算総額は44億7千万円で、前年度当初予算に比べ2.8%、1億2千万円の増となっています。  
〔歳入〕保険料、一般会計繰入金、広域連合からの受託事業収入等が主なものです。  
〔歳出〕広域連合へ納付する負担金のほか、保健事業に要する経費等を計上しています。  
後期高齢者医療の被保険者数は、前年度に比べ700人増の2万3千6百人を見込んでいます。  
〔介護保険事業特別会計〕予算総額は14億1千6百万円で、前年度当初予算に比べ4.6%、6億2千万円の増となっています。  
〔歳入〕保険料、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金、一般会計繰入金等を計上しました。  
〔歳出〕保険給付費は4.7%、約5億7千2百万円の増を見込んでいます。  
要支援要介護認定者数は、前年度に比べ2.8%増の9千2百51人を見込んでいます。

### フォーラム小平 賛成

小平市がより魅力的な町となるための予算として編成されている

賛成の理由を以下に述べる。  
①こだいら人財の森事業は市民参加の大きな支援になる。  
②子育て世代包括支援センター開設など子育て支援の取り組みを評価する。なお、保育園増設による保育の質の低下を招かないこと等を要望する。  
③教育面は、タブレット端末の配備など喫緊の課題に対応できている。  
④高齢者福祉は、見守りサービスをふるさと納税の返礼品に追加することによる体制の充実等を評価する。なお、児童発達支援センター開設は、たいよう福祉センターの現在のサービスが縮小しないよう要望する。ソサエティ5.0にふさわしい仕組みづくりを進める中で迅速で確実な事務事業のためのさらなる研究を期待する。以上を申し述べ賛成討論とする。

### 市議会公明党 賛成

会派として要望し続けた事業が一定数盛り込まれている

賛成の理由を以下に述べる。  
①健康都市を進めるプロジェクトチームは市内横断的に取り組む姿勢を確認できた。  
②オリンピック・パラリンピック関連基金は会派で提案した減額の意向に沿っている。  
③防犯カメラを整備する自治会への補助等は市民の声に応えた施策である。  
④部活動指導員配置拡充等は会派要望に合致する。なお、職員の適正配置は引き続き検討を要望する。  
学校体育館の冷暖房整備は前向きな検討を期待する。児童発達支援センターは教育と連携しワンストップ体制を目指してほしい。PFIでの学校給食センター更新事業を成功させてほしい。児童・生徒全員のタブレット端末配備を視野に事業構築を求め、以上を申し述べ賛成討論とする。

### 政和会 反対

創意と工夫による積極的なまちづくりの姿勢等が一切認められない

反対の理由を以下に述べる。  
①ふるさと納税による赤字に対して、財源を確保していきたいとの思いが感じられない。  
②動く市役所は多様なニーズに答えられていない。サービスの質の向上を強く要望する。  
③すだち事業は例年どおりの予算執行ではなく、ソフト面の充実を図る必要があった。  
④財産活用について、武蔵公園は花小金井武道館を取り壊し公園にすることありきで説明も不十分である。団体の活動場所の確保等を強く要望する。  
⑤ICT教育が全国から見ても大きくおくれであることを受けとめない姿勢は誠に遺憾である。  
⑥小平市民文化会館の設備改修についており、予算化を強く要望する。以上、反対討論とする。

### 一般会計予算に対する 各会派の討論 (要旨)

### まちづくり市民こだいら 賛成

緑の施策で前進が見られる

賛成の理由を以下に述べる。  
①緑化基金が初めて特別緑地保全地区の買い取りに使われることをうれしく思う。  
②緑化基金から4千300万円を繰り入れ、緑化推進に使うことは大きな変化であり、積立額も平成30年度決算額の27倍と今までで最も高い額となっている。今後の緑地買い取りへの意欲が感じられる。  
③水が余り流れていない鈴木用水等に水を流す整備事業を評価する。なお、武蔵公園整備のための基本設計及び詳細設計の委託には強く抗議する。小川駅西口地区市街地再開発事業は、再開発組合に予算がどう使われるか情報提供を求める必要がある。小川西グラウンドの人工芝化は、環境等の面で天然芝のほうが望ましい。以上を申し述べ、賛成討論とする。

### 生活者ネットワーク 賛成

支援が必要な事業にも注力する堅実な予算編成を評価

賛成の理由を以下に述べる。  
①産後ケア事業開始など切れ目のない子育て支援の拡充。  
②特別緑地保全用地の取得など緑地保全の推進。  
③農業者の経営規模拡大支援など会派で要望してきた農業者のサポートを行う姿勢。  
④参加と協働を根幹に据え町の課題等に取り組んでいく姿勢などを評価する。  
なお、必要な都市基盤を柔軟に見直すことなどについて要望等を行う。以上を申し述べ、賛成討論とする。

### 日本共産党小平市議団 賛成

保育園待機児対策、高齢者支援の取り組みなどを評価

賛成の理由を以下に述べる。  
①認可保育園1園の開園等を評価する。  
②学童クラブ増設を評価する。  
③定期巡回随時対応型訪問介護看護等の整備が盛り込まれている。  
④農業者の経営拡大のための農地化支援を評価する。  
⑤非核平和事業継続を評価する。  
⑥コミュニティセンター(南西部地域の再実証実験)の経費を計上している。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止等について国等に迅速な予算措置を要望してほしい。都市計画公園は計画段階からの市民参画徹底を求める。小川駅西口地区市街地再開発事業はきめ細かな説明会を求める。家庭ごみ指定収集袋の値下げを求める。学校体育館へのエアコン設置の検討を要望する。以上を申し述べ、賛成討論とする。

### 一人会派の会 反対

人口減少などの時代に向き合える取り組みがない

反対の理由を以下に述べる。  
①正規職員数が26市平均より少ないが、浮いた財源が有効にまちづくりに使われているか見えてこない。  
②市の建物等の民間貸し出しが適正価格で行われていないなど歳入をふやす具体策がない。  
③職員数の段階的引き上げを求める。  
④地域自治の推進は自治会を基本に展開するべきである。  
⑤市民営の学童保育への補助は疑問である。  
⑥市の障害者雇用は精神障害者も対象とすることを求める。  
⑦温室効果ガスは2050年に実質ゼロを目指すことを求める。そのほか、コミュニティタクシー以外の公共交通の検討や、教員の労働環境改善に取り組むことなどを求める。なお、会派内で賛成する議員がいることを申し添え反対討論とする。

※小平市東京オリンピック・パラリンピック子ども夢・未来基金

# その他の 主な議案

## 令和元年度一般会計 補正予算(第4号)

本補正予算は、元年度の終盤に当たる補正予算として、歳入歳出ともに過不足の調整、計数整理等を行い、今回の補正に伴う余剰財源を活用し基金残高の回復を図ることが主な内容です。

また、債務負担行為を設定した事業の年度内の支払い見込み額に基づき、予算の減額及び2年度の債務負担行為限度額を増額します。

交付金について今後の交付見込みをもとに減額するほか、事業費の増減に伴い、国及び都支出金並びに市債を補正するとともに、普通財産の売り払い及び寄附金等について増額します。

## 市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

本議案は、市議会議員の出張において、宿泊を伴わないときは日当を支給しないこととするものです。施行日は令和2年4月1日です。

## 議会 人事

東京都十一市競輪事業組合議会議員・東京都四市競艇事業組合議会議員

虻川 浩議員  
小野 高一議員

# 特別委員会中間報告

3月定例会初日に、各委員長が報告した経過の概要は次のとおりです。

## 広聴広報特別委員会 委員長 さとう悦子

○開催日 令和元年5月20日  
令和2年1月14日(計10回)

○主な内容 市議会ホームページの充実について、8月の議会報告会について 外

## 都市基盤整備調査特別委員会 委員長 松岡あつし

○開催日 令和元年5月20日  
令和2年1月22日(計5回)

○主な内容 都市計画道路等の整備状況について、駅前再開発事業の進捗状況について 外

## 公共施設マネジメント調査特別委員会 委員長 細谷 正

○開催日 令和元年5月20日  
令和2年1月16日(計5回)

○主な内容 令和元年度の公共施設マネジメントの取り組み内容、近隣市視察(武蔵野市) 外

## 小平市第四次長期総合計画基本構想特別委員会 委員長 松岡あつし

○開催日 令和元年9月3日  
令和2年1月24日(計4回)

○主な内容 第四次長期総合計画基本構想について(策定基本方針、基本構想全体) 外

## 代表質問

代表質問とは、市政全般について各会派の代表者が行う質問をいいます。本市議会では、年に1回、3月定例会2日目に行っています。質問時間は会派の所属議員数に応じて決まっております。市長または教育長が答弁します。

今回は、6会派から19件の質問があり、紙面にはその質問及び答弁の要旨を掲載しました。

## 政和会

### 小野高一議員

**小林正則市長4期目最終年度の予算編成について**

議員 令和2年度予算編成の大きな特徴は、

市長 2年度は、市街地再開発事業や大規模公園の整備等さまざまな大型事業が本格的に動き出す年などになる。厳しい財政状況の中、真に必要な事業を着実に推進し次の長期総合計画へ引き継いでいく1年とするための予算編成を行ったものである。

次世代、将来を見据えたまちづくりについて

議員 鷹の台駅前広場用地の整備について、今後の予定は、

市長 2年度は、市が取得予定の駅前広場用地について、土地所有者側による既存建物等の解体工事を予定している。また、交通管理者など関係機関との調整を進め、3年度以降、工事に着手する予定であり、可能な限り早期の完成に向け努めていく。

**環境保全、良好な緑地空間としての農地減少に歯どめを**

議員 農地の絶対面積を減らさないで、農業後継者とともに良好な緑地空間としての農地を維持することへの施策は、

市長 認定農業者制度を推進し、農業用機械等の導入補助により効率化を図る農家の経営安定支援等をするほか、体験農園など、市民が農業の担い手等になるような取り組みを推進していく。

## 学校のICT環境の抜本的改善について

議員 学校のICT環境の抜本的改善にどう取り組んでいくか。

教育長 2年度には、全小学校のパソコン教室に20台のタブレット端末を追加配備し、クラス全員が一斉に活動できる環境を整備する予定である。今後も、財政状況等も踏まえながら必要な対応を図れるよう努めていく。

**【掲載分以外の質問項目】**

○第3次行財政再構築プランに基づく取り組みについて外1件

## 市議会公明党 山岸真知子議員

**新たな視点での総合的な公共交通体系の確立を**

議員 福祉的要素を加味した総合的な公共交通体系の検討は、

市長 現状を的確に捉え、将来を見据えた視点での公共交通体系の再構築が必要である。今後、南西部地域コミュニティタクシー実証実験運行状況を見きわめ、市の特性等に即応した地域公共交通のあり方を検討していく。

**事前防災を踏まえた実践的な防災整備の充実を**

議員 都の支援を活用し市庁舎等の電源確保を進めるべきでは、

市長 災害対策本部が設置される市庁舎で、発災後72時間連続して非常用電源が稼働できるように都の補助を活用し既存設備を改修する予定である。2年度に設計を行い停電時でも電源を確保できる環境整備を進めていく。

## 予防を重視した健康診査やがん検診受診率の向上策を

議員 受診率向上のために積極的な施策展開が必要だが、課題と今後の取り組みは、

市長 市報で広報等しているが受診率が飛躍的に向上していない。今後は、他市の事例も参考に、受診率向上に直接つながる受診勧奨等を検討していく。

**一人ひとりに丁寧に対応する人間教育の実践を**

議員 命の大切さを学ぶ機会として、がん教育を充実させることはできないか。

教育長 健康教育の一環として取り扱ってきたが、学習指導要領改訂で中学校の保健体育科にがん教育として明記されたため、令和3年度の全面実施を踏まえ、がん教育の充実を図っていく。

**【掲載分以外の質問項目】**

○循環型社会形成に向けて新たな取り組みを

## フォーラム小平 竹井ようじ議員

**政策インデックス2017、64の約束プラスαの進捗について**

議員 進捗状況と未達成項目は、

市長 72項目中、実施しているものが69項目で約96%となり一定の進捗が図られている。進んでいない項目は3項目で、子ども医療費の無料化・助成制度の拡充、医療的ケアが必要な子どもへの支援の充実と住宅訪問型保育事業の推進、従来の自主防災組織よりも小さな単位での防災グループ制度の創設である。

**社会の変化を捉え、持続可能な自治体経営を行うことについて**

議員 ソサエティ5・0時代をどのように捉えているか。

## 市長 成長社会から成熟社会へ移行し、人口減少や少子高齢化が進む中で地域課題の解決や新たな価値の創造、一人一人が快適に活躍できる社会となること

が期待されるものと捉えている。

**チルドレン・ファーストで子ども子育て課題に取り組むこと**

議員 都は子育てに全力で取り組む区市町村徹底支援プロジェクトを展開するが、市も、徹底したチルドレン・ファーストの気概を持って子ども・子育て施策を進めていく展望があるか。

市長 都のプロジェクトの詳細は示されていないが、子どもの健やかな成長を第一に保護者が安心して子どもを産み、育てることができ、地域で支えられる環境づくりを今後も進めていく。

## 一人会派の会 橋本久雄議員

**チャレンジする小平をつくるため**

議員 ①市のプラスの特徴をまちづくりにどう生かしているか。

②予算編成過程を市民と情報共有する取り組みが必要では。

③外国籍住民のまちづくりに参加を促す、仮称多文化共生推進プランをつくらないか。

④教員の残業時間が減っていないが、今後の取り組みは、

市長 ①都市の利便性と緑や農地が多くあることによるくつろぎの空間という両面をあわせ持つことなどが特徴である。これらを生かし、駅周辺の利便性等を高めるための駅前再開発や公園整備等を積極的に進めている。

②市民にわかりやすい財政を推進し、予算編成過程の透明性向上の観点から、担当課見積も

## り時、企画政策部査定後及び最終予算案の段階で、集計状況をホームページ等に公表している。

③次長期総合計画策定において示す中で、多文化共生の意識を高めるとともに、引き続き関係機関等と連携しながら課題等の調査、研究を行っていく。

教育長 ④元年12月から各学校に出退勤システムを導入し在籍時間を正確に把握する取り組みを開始した。今後は、把握した勤務実態をもとに業務改善に取り組みほか、部活動指導員配置など人員体制の充実を図り長時間勤務の改善に取り組んでいく。

## 日本共産党小平市議団 細谷 正議員

**小平市の現在と未来に受け継ぐもの**

議員 ①ジェンダー平等の発展、向上のため今後はどう考えるか。

②子どもの命を守る施策について臨んできたことは、

市長 ①国の動向等を注視しながら、さまざまな事業等を通じて男女共同参画意識の浸透を図り、誰もが自分らしく生き生きと暮らせる社会実現を目指していく。

②虐待から子どもを守るため、要保護児童対策地域協議会の連携充実など機能強化をしてきた。

教育長 ②市立小・中学校では、都のSOSの出し方に関する教育を推進するための指導資料を活用した授業の実施等している。

## 生活者ネットワーク さとう悦子議員

**小平市の農業の発展と地域活性化のために**

議員 22年には多くの生産緑地が買い取り申し出可能となり、農地の減少が懸念されるが、農地の確保のために何を行うか。

市長 農業委員会等と協力して、特定生産緑地制度への移行に向けた説明会を実施し農家へ制度周知を図ってきた。今後も農業経営基盤安定に向け支援を行い、農業者みずから稼ぐ力を向上させ多くの生産緑地が特定生産緑地へ移行できるよう努めていく。

## 小平市のこれから まちづくりについて

議員 ①緑の保全・創出にグラントデザインを描くべきでは。

②まちづくりには市民参加と協働が欠かせないが、進め方は、

市長 ①策定中の次期みどりの基本計画で、緑化施策、公園施策等を相互連携させ、緑のネットワークを軸としたランドデザインとして示す予定である。

②市民参加は、無作為抽出型のような参加の機会を広げる取り組み等で多様な意見をまちづくりを生かせるよう努めていく。

協働は、市民活動団体等の多様な担い手の持つ豊かな発想を生かし、地域課題等に対応するための取り組みを進めていく。





実態にそぐわない、小平市風致地区の見直しについて

小野高一議員(政和会)

小平市風致地区の見直しについて

質問 ①風致地区の目的は。

②風致地区に指定された区域の現況を見た場合、その目的の役割を果たしているといえるか。

③風致地区の変更、解消を求めるには、都市計画の変更等、どのような手続、手順が必要か。

市長 ①風致地区は、樹林地などで構成された、都市における良好な自然的景観としての風致を維持することを目的として、都市計画で定めるものである。

②風致地区制度は、東京都風致地区条例及び小平市風致地区条例に基づき、建築物の建築等

の行為を規制することを通じて、地区内の緑の保全を図るものである。比較的緩やかな規制であることから、市内には現状において風致を構成する樹木等が減少した箇所もあるが、本制度を継続的に運用することにより、新たな緑の創出を促す効果もあることから、都市計画として一定の役割を果たしているものと認識している。

③都市計画変更には、現況等の実態把握、周辺住民等への意向の確認などを行い、理由を明確にした上で都市計画の案をまとめ、東京都との協議や説明会の開催、公衆の縦覧、その他の法定手続を行う必要がある。



時間外勤務を減らすため適正な配置等を／ペーパーレス化推進

中江美和議員(一人会派の会)

市職員の時間外勤務を減らすために適正な配置・採用を

質問 ①時間外勤務手当に毎年3億5千万から9千万円要しているのは、業務量に応じた職員配置がされていないからでは。

②具体的な時間外勤務経費の削減目標はあるのか。

市長 ①職員定数は新たな行政需要等を踏まえて決定している。多くの時間外勤務が恒常的に見込まれる部署には、業務量等踏まえ常勤職員の増員等していく。

②特定事業主行動計画HAP PYこだいらで、1人当たりの年間実施時間を、平成25年度比15%以上縮減する目標である。



市役所を機能不全に陥らせない新型コロナウイルス対策

伊藤 央議員(一人会派の会)

市役所を機能不全に陥らせない感染症対策について

質問 ①今回の新型コロナウイルス感染症対策は小平市新型コロナウイルス感染症対策行動計画の対象か。また、当計画に準じて対応を行うのか。

②職員の感染予防対策と、これまで職員に対し行った指示は。

③職員間に多くの感染者が出た場合、業務停止など機能低下が考えられる。市民への影響を最小限に抑えるために、平時とは違う人員配置などが必要では。

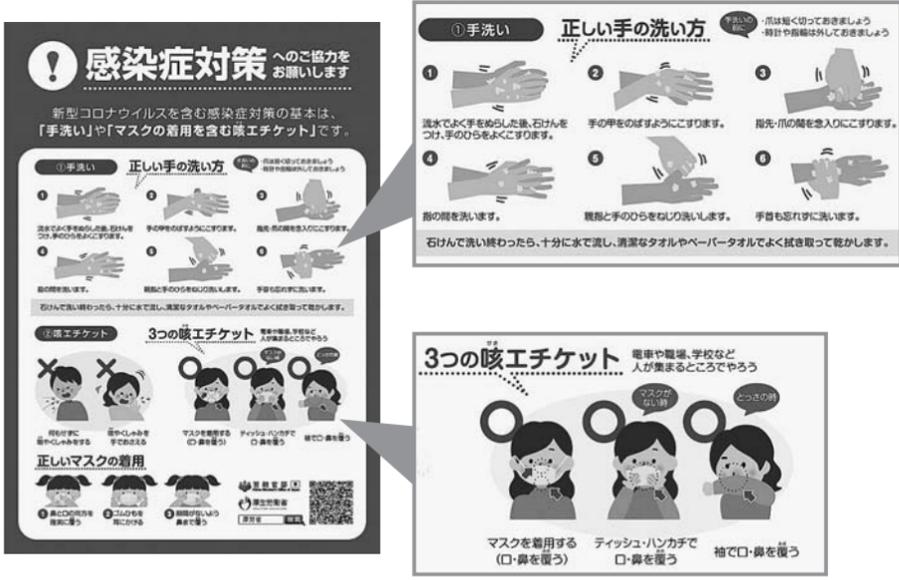
市長 ①小平市新型コロナウイルス感染症対策行動計画の対象ではないが、同等の感染症として同

計画を準用して対応している。②国や東京都の通知等に基づき、情報提供を行い、マスク着用や手洗いの徹底など感染症対策に努めるよう周知している。

③新型コロナウイルスに係る業務継続計画の発動または、同計画の準用を決定した場合は、必要に応じて通常業務の一部を休止または縮小し、優先業務を集中的に行うことで市民生活や市役所機能の維持に努めていく。

【掲載分以外の質問項目】  
○中・高年のひきこもりには独自の対策を

○小平市東京オリンピック・パラリンピック子ども夢・未来基金について



市役所で掲示している、国が作成した手洗いやマスク着用等の啓発ポスター(出典:首相官邸HPより)



個別事情に合った妊娠、出産支援／小川西町の開発と安全対策

吉本ゆうすけ議員(フォーラム小平)

妊娠から出産までの支援は個別の事情に合った支援にすべき

質問 ①小川駅周辺に停車する工事車両について対策は。

②開発工事などで停車する大型車両の台数がふえる懸念と、地域の不安への対応策は。

③小川西町地域の空き地の状況把握を積極的に行うべきでは。

市長 ①交通管理者にパトローリや取り締まりの強化を要望しているほか、注意喚起看板の設置等を行っている。引き続き適切な交通安全対策に努めていく。



高齢者の安心の暮らしを守るために

山岸真知子議員(市議会公明党)

高齢者の安心の暮らしを守るために

質問 ①高齢者の見守り事業について、平成30年度の利用状況、効果及び課題は。

②高齢者の見守りにハローライフ活用が可否確認に役立つが、積極的な活用を検討できないか。

③平成30年度の避難行動要支援者名簿登録人数や協定を締結した団体数、名簿を活用した取り組みの先進事例は。

市長 ①地域包括支援センターによる見守り対象者数は215人、訪問及び電話による見守り回数

は延べ1千56回である。効果は、支援が必要な高齢者を早期発見

②再開発組合等に対し周辺環境に配慮した工事車両に係る安全対策や、地域住民への丁寧な情報発信について指導していく。

③事業計画が未定で相談等がない場合、把握は困難である。

小川西町地域の開発及び交通安全対策について



地域包括ケア推進計画の実施に寄せて

きせ恵美子議員(日本共産党小平市議団)

地域包括ケア推進計画の実施に寄せて

質問 ①平成30年度からの計画の主な進捗状況は。

②経済的な理由等により、介護サービスが受けられない場合の支援策や補助制度は。

③3年度から実施の地域包括ケア推進計画の基本課題は。

市長 ①認知症地域支援推進員の増員や、認知症に関する各種講座の開催など、認知症施策の推進に取り組むとともに、在宅医療介護連携調整窓口を市に移し、在宅医療と介護の提供体制の構築を進めるなどした。



市立小・中学校における防災教育と地域連携について

小林洋子議員(フォーラム小平)

市立小・中学校における防災教育と地域連携について

質問 ①避難訓練で過去の教訓を取り入れて変化した内容は。

②教員の研修の中で防災教育についてのものはあるか。

③地域で行われる防災訓練等に学校単位等で参加した例は。

④学校の避難訓練で地域との連携を目的にしたものはあるか。

一部を軽減する生計困難者等に対する利用者負担軽減制度や、デイサービス等利用時の昼食代補助を行う通所介護等利用者の助成事業を実施している。

③高齢化の進展や世帯構造の変化によるひとり暮らし高齢者等の増加、認知症高齢者の増加等が並行して進むことで介護サービス需要の増加や多様化への対応が課題と捉えている。また、今後は給付と負担のバランスを維持、運用も重要な課題である。国や都の動向、及び元年度に実施したアンケート調査の結果等踏まえ次期計画を策定していく。

②市実施の学校リーダー育成プログラム研修で危機管理マニュアルの見直しを防災の視点で行い、元年度は11人が参加した。

③元年度9月に、上宿小学校で実施した総合防災訓練に同校の全学年の児童が参加したほか、中学校1校で地域主催の防災訓練に部活動単位で参加している。

④地域との連携が主たる目的の避難訓練はないが、学校公開時に避難訓練を地域の人に参観してもらい、学校における避難指示の方法等の理解を深めてもらっている学校がある。また、応急救護や初期消火等を地域と合同で行っている学校もある。



### 鷹の台駅と周辺地域について 公立保育園は廃園でなく存続を

鈴木だいichi議員(日本共産党小平市議団)

#### 鷹の台駅と、その周辺地域について

質問 ①小平都市計画公園3・3・4号鷹の台公園用地の買い取り費用額と、このタイミングで用地買収を決めた必然性は。

②コミュニティタクシー鷹の台駅西側ルート第2期実証実験運行の直近の乗降者数は。

市長 ①土地購入代金は約22億2千5百万円で、昨年11月に所有者から公有地の拡大の推進に関する法律に基づく土地買収希望申出書の提出があり取得することを決定した。  
②2年2月20日現在、27日間で687人、1日平均25人である。

#### 公立保育園の存続で、子育てしやすいまち小平を

質問 ①公立保育園の保育士2人が欠員している要因は。

②4園縮減計画の反対意見を市としてどう受けとめているか。

③人口推計より子どもの人口がふえた場合の公立保育園縮減計画見直しの判断はいつ行うか。

市長 ①継続して採用試験を実施したが採用には至らなかった。  
②考え方を丁寧に説明し、理解を深めてもらえるよう努める。  
③基本的には公立保育園の運営のあり方に関する方針改定版の適正配置のスケジュールに沿って進めていく。



### 教員の働き方、教科書選定 小平の地下水水質と地下水活用

細谷 正議員(日本共産党小平市議団)

#### 教員の働き方、教科書選定について

質問 ①教員の過労死ラインを超える実態への見解と抜本的な改善策は。

②課題の多い教員の変形労働時間制は導入を見送るべきでは。

③中学校教科書選定にあたり、教育委員会として広く市民に見募集をするための課題は。

教育長 ①過労死ライン相当の勤務実態の教員が一定程度おり、重大な問題と認識している。学校における働き方改革推進プランの取り組みを推進していく。  
②都の動向を注視しながら慎重に検討していく。



### 家庭ごみ有料化、戸別収集の 検証について

さとう悦子議員(生活者ネットワーク)

#### 家庭ごみ有料化、戸別収集の検証について

質問 ①事業開始後に見えてきた課題と寄せられる苦情内容は。

②事業を検証するための市民意見を聞く機会は。

③ごみを分別したいと思ってもできない高齢者等への対応は。

市長 ①分別について多くの意見、苦情が寄せられており、特にプラスチック製容器包装の分別は重要な課題である。



### 新紙幣、津田梅子を記念した イベント／ペDESTリアンデッキ

山田大輔議員(政和会)

#### 新紙幣、津田梅子を記念して大々的にイベントを開催すべき

質問 ①小平市の活性化のため、大々的に開催すべきだが見解は。

②児童・生徒も地元の歴史的人物を知り、学び、イベント等に参加するチャンスが見解は。

市長 ①観光まちづくり協会主催の町めぐりコースに津田塾大学を立ち寄り場所に加え、市の見どころとして案内するなど連携しながら市ゆかりの著名人の1人として魅力を伝えていく。

教育長 ②小・中学校の社会科学の教科書に津田梅子の功績について記載がある。イベント等の

#### 参加は有意義であり、今後、関係団体等と連携し研究していく。

質問 ①手話言語はどんな人が用いるものと認識しているか。

②市内で開かれる東京都聴覚者連盟大会に向けた取り組みは。

市長 ①聴覚障害者や聴覚障害者の家族を持つ人などが主に使っているものと認識している。

②市役所への手話通訳者配置や、新たに整備した公共施設の案内表示に視覚記号のピクトサインを用いるなど見えやすくなりやすい工夫を行っている。今後もこれらの取り組みを通し、誰もが暮らしやすい思いやりのあるまちづくりを進めていく。



### 緑化基金の活用を／花小金井 武道館の継続／集会施設の有料化

水口かずえ議員(まちづくり市民こだいら)

#### 小平の緑地の保全に小平市緑化基金をもっと活用できないか

質問 ①小平市緑化基金で緑地の買い取りをしたことはあるか。

②今後の基金の活用予定は。

市長 ①これまでにはない。②特別緑地保全地区の買い取りに必要な財源を補填するものとしても活用していく。

#### 花小金井武道館をできるだけ長く継続使用することについて

質問 ①花小金井武道館を日常的に利用している弓道連盟会員65人のうち、3割近くが市民総合体育館への移動は高齢等により困難と回答しているが見解は。

市長 水質汚濁防止法に基づき、都が、都内全域で井戸水を利用した調査を実施している。市は、年1回、震災対策用井戸の水質検査を実施している。



### 学校教育のICT化推進 一橋学園駅周辺の地域課題の解決を

松岡あつし議員(政和会)

#### 学校教育のICT化を進め教育先進市小平をつくらう

質問 ①文部科学省等のオープンデータを利用した基礎自治体教育ICT指数サッチで、当市の偏差値は27.02だが、どう評価するか。

②小・中学校における学習者用PC1台当たりの児童数の順位を改善できないか。

③GIGAスクール構想の1人1台のコンピュータやクラウド活用等を実現できないか。

④産官学連携やシェアリングエコノミー活用が重要でファーストペンギンを目指すことで最先端で質の高い教育が可能との

話もあるが当市も目指せないか。

教育長 ①PC1台当たりの児童・生徒数が多いためである。  
②小・中学校では2年度に380台のタブレット端末を配備する。  
③課題が多いと認識があるが、必要な対応が図れるよう努める。  
④関係機関等との連携を含め必要な取り組みを推進していく。



### 手話言語の理解促進を／現実に 合った中学校生活を送れるか

川里富美議員(フォーラム小平)

#### 子どもたちが現実に合った市立中学校生活を送れるか

質問 ①校内でエアコンを使う条件をどう通知しているか。

②月経中でプールの授業に参加できない生徒への授業評価は。

教育長 ①平成24年度に、運転期間や室内温度の運用基準等を示した、小・中学校における空調機器の使用についてという文書を通知するなどしている。

②実技評価は別の日の放課後等に行うなど配慮している。評価は学期等を通し総合的に行っており、月経に限らず体調不良で参加できない場合も生徒の状況に配慮するよう工夫している。



だれでもトイレ



エレベーター



授乳室

市の公共施設で使われているピクトサインの例



ディズレクシアの子どもの見直しすな／人口推計の妥当性は



自治会が所有する集会所の活用を市内の無電柱化を進めよう



市民自治を実現させるために



職員および教職員の働き方改革を推進／小平郷土史検定の創設を

ディズレクシアの子どもの見直しすな／人口推計の妥当性は

把握していない。

②現在、市で全児童・生徒を対象とした統一したアセスメントは行っていない。

人口推計のひとり歩きを防ぐため、より科学的な提示を

質問 ①国の調査で、読むまたは書くに著しい困難を示す子どもの割合は平成24年時点で2.4%とされ、小平市立小学校児童数で計算すると20人以上が苦しんでいる可能性がある。市立小・中学校におけるディズレクシアの児童・生徒潜在数をどう見積もっているか。

②市立小・中学校において、ディズレクシアの児童・生徒を見逃さないためのアセスメントをどう行っているか。

教育長 ①一定数あると認識している。診断を受けた実人数は

把握していない。

②現在、市で全児童・生徒を対象とした統一したアセスメントは行っていない。

人口推計のひとり歩きを防ぐため、より科学的な提示を

質問 市の人口ピークはこれまで何度、どう修正されたか。

市長 平成22年国勢調査結果に基づく推計では平成27年に18万8千8百32人、平成27年国勢調査結果に基づく推計では令和2年に19万1千4百43人、令和元年8月公表の推計補足版では令和7年に19万7千2百31人で総人口のピークを迎えるとしている。



DV防止対策と被害者支援／コミュニティ・スクールについて

質問 ①DV被害者支援のための全庁的な連携体制が必要では

②被害者が一度の説明でさまざまな支援が受けられる工夫は

③デートDVの予防啓発策は

市長 ①関連部署が現状把握や被害者支援等を目的に庁内において連絡会議を行っている。

②関係部署へつなげる場合は、相談者の負担が軽減できるようなケースに応じて連携し適切な対応を図るよう努めている。

③2年度も中学生、高校生、大学生に向けたデートDV防止講座の実施等に取り組んでいく。

地域とともに子どもたちを育てていくために

質問 ①コミュニティ・スクール設置の成果と課題は

②地域との関係を深めていくために市長部局との連携が必要と考えるが教育委員会の見解は



多胎児支援／多文化共生／障害のある子どもない子ども遊べる公園

質問 国や都で始まる多胎児家庭向け支援制度の市での展開は

市長 多胎児家庭への家事育児サポーター派遣や母子保健事業利用時の移動経費補助等、幅広い事業を展開予定と聞いている。

今後、事業の内容を見きわめ、総合的な観点から検討していく。

国際交流から多文化共生へ

質問 仮称小平市第四次長期総合計画骨子案には「多文化共生」が明記された。多文化共生推進課などを設け責任の所在を明確

にして方向性を支えるべきでは

市長 市内在住の外国人がふえる中、互いの文化や違いを認め理解することは今後さらに重要になる。多文化共生の意識を高め関係機関や大学等と連携し課題や取り組みの方向性を整理していく。なお、課の設置予定はないが今後必要に応じ検討する。

障害のある子どもない子ども一緒に遊べるインクルーシブ公園を

質問 遊具更新時にインクルーシブ遊具を取り入れるべきでは

市内の無電柱化を進めよう

質問 ①無電柱化への考えは

②今後の無電柱化をどう進めていくか

市長 ①都市防災機能の強化等に有効である一方、電線共同溝整備等で完成までに時間を要すること、整備に多額の費用がかかることなど事業実施に当たり課題があるものと認識している。

②元年度策定予定の仮称小平市無電柱化チャレンジプランを基本に、整備手法の検討を行うとともに、優先的に無電柱化を検討する路線の整備に取り組むことで推進に努めていく。

市民自治を実現させるため

質問 ①小平市における自治基本条例の位置づけ、存在意義は

②自治基本条例の施行から10年を経て、これまでの成果は

③協働の推進に関する指針の改定により前進したと思う点は

④小平市自治基本条例第11条の「参加における配慮」はどこまで実現できているのか

⑤市民の参加する審議会等の運営で市が留意している点は

⑥市民と行政の信頼関係構築には合意に至る対話のプロセスが重要だが、行っている工夫は

市長 ①情報共有、参加、協働

を指針として自治の基本理念を実現するものと認識している。

②市民参加を促す取り組み推進の結果、市民参加や協働の考え方が各施策や市民活動に浸透してきていると認識している。

③協働の基盤づくりから、実践的な協働によるまちづくりを推進していくこととした。

④審議会等の夜間開催や保育士の配置などを行っている。

⑤活発な意見がもたらえるよう資料の事前送付等を行っている。

⑥情報共有と双方向の対話が大切である。説明会等の情報提供や意見交換会等を通じて市民との対話を重ね、理解や信頼を得られる関係構築に努めていく。



空き家の利活用／小金井サクラ復活事業は生物多様性に反する

質問 ①空き家等対策計画に記載のある利活用とは何を行うか

②次世代下宿京都ソリテール事業等を参考にできないか

③市が仲介し、ひとり暮らし高齢者の住宅の一部を借りて、居場所をつくれぬか

市長 ①民間業者を中心とした中古住宅の活用などについての情報提供や啓発活動を行う。

②民間業者を中心とした情報提供や啓発活動を実施する。

③市の仲介は考えていないが活動場所を含め、地域の居場所の立ち上げや運営を支援する。

生物多様性地域戦略に反する

質問 ①プロジェクトの評価は

②プロジェクトを小川水衛所跡まで延伸する考えはあるか

職員および教職員の働き方改革を進めよう

質問 ①働き方改革が市の財政に与えた影響は

②小・中学校では通知表と指導記録を手書きしていると聞くが、デジタル化できないか

市長 ①時間外勤務手当が平成28年度をピークに減少傾向となっており、平成30年度は28年度と比較し約6千万円の減である。

教育長 ②中学校は全校でパソコンを使用し通知表とリンクさせるなどして指導記録を作成しているが、小学校は手書きの学校が多い。小学校において中学校の取り組み等を参考にできる

転じて、リスクを恐れず初めてのこと挑戦するベンチャー精神の持ち主のこと。

④ディズレクシアとは

知的能力等に問題がないにもかかわらず、読み書きに困難を抱える学習障害のこと。

⑤コミュニティ・スクールとは

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、保護者や地域住民が学校運営に参画するための学校運営協議会が設置された学校のこと。

⑥インクルーシブ遊具とは

背もたれのあるブランコや車いすに乗ったまま遊べる大型遊具など、障害の有無にかかわらず安全に楽しめる遊具のこと。



用語の解説

※1 GIGAスクール構想とは

1人1台の端末及び高速大容量通信ネットワークを一体的に整備等することで、多様な子どもたちを誰ひとり取り残すことなく、公正に最適化された学びを全国の学校現場で実現させる構想のこと。

※2 シェアリングエコノミーとは

個人が保有する物・サービス・場所などの貸し借りを仲介する仕組みのこと。

※3 ファーストペンギンとは

天敵のいる海へ最初に飛び込む勇敢なペンギンのこと。

※4 ディズレクシアとは

知的能力等に問題がないにもかかわらず、読み書きに困難を抱える学習障害のこと。

※5 コミュニティ・スクールとは

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、保護者や地域住民が学校運営に参画するための学校運営協議会が設置された学校のこと。

※6 インクルーシブ遊具とは

3月定例会

議案に対する各議員の賛否

会派名略称 政和：政和会(7) 公明：市議会公明党(6) フォ：フォーラム小平(4) 一人：一人会派の会(4) 共産：日本共産党小平市議団(3)
( )内は各会派の議員数 生ネ：生活者ネットワーク(3) 市民：まちづくり市民こだいら(1…無会派)

Table with columns for district, number, item name, decision result, and individual member votes (賛成/反対) for various proposals.

○：賛成 ×：反対

※議長は表決に加わりません。

全会一致で議決した議案等 ※1

Summary table of unanimous decisions, listing item numbers, names, and results.

※1 議長は表決に加わりません。

議会日誌 1月15日~4月14日. Includes a calendar of meetings and committee activities.

042(346) 9566
187-8701 小平市小川町二丁目
1333番地

あとがき

3月定例会では、各会派からの代表質問などが行われました。今後ともよりわかりやすく親しみやすい紙面づくりに広聴広報特別委員一同努めてまいります。

意見書 3月定例会では2件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。(要旨)
骨髄移植等によりワクチンの再接種が必要となった者への接種費用を助成する制度の創設を求める意見書
柔軟仕上げ剤等家庭用品に含まれる香料の成分表示などを求める意見書